

各関係医療機関 殿

(医)一陽会 原田病院
病院長 重本憲一郎

多発性嚢胞腎(ADPKD)患者さん紹介のお願い

拝啓 時下、先生におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年1月、新しい難病医療費助成制度がスタートし、いくつかの疾患が指定難病に登録されました。常染色体優性多発性嚢胞腎(以下、ADPKD)は最も頻度の高い遺伝性腎疾患であり、病態の進行により、2014年末時点では国内で約11,000人の患者さんが慢性透析療法を受けざるを得ない状況となっております。

さて、2014年3月にADPKDの治療薬として、トルバプタンの効能・効果が追加承認されましたが、高額であるため治療を断念される患者さんもおられました。そのような中、ADPKDが難病医療費助成の指定を受け、患者さんにとって大きな朗報となっております。

ADPKDの患者さんのうち、トルバプタンの治療対象となるのは、腎容積が大きく(両腎容積750mL以上)、進行が速い(年増大率5%以上)患者さんですが、助成対象となるためには、CT等による画像診断を行い認定申請が必要となります。また、本剤投与による治療においても、本疾患が完治するものではなく、あくまで進行を抑える治療であるため、腎機能が保たれているステージで治療を開始する必要があります。

そこで、ADPKDの疑いや、家族歴のある患者さんの積極的なご紹介をご検討頂頂きたくご案内を差し上げました。治療対象と診断されれば、入院下にて投薬を開始致します。その後の外来継続に関しましては貴院にて経過観察をお願いできればと存じます。原田病院腎臓専門外来(CKD外来)にご紹介頂ければ幸いです。

ご多忙の折、誠に恐れ入りますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具